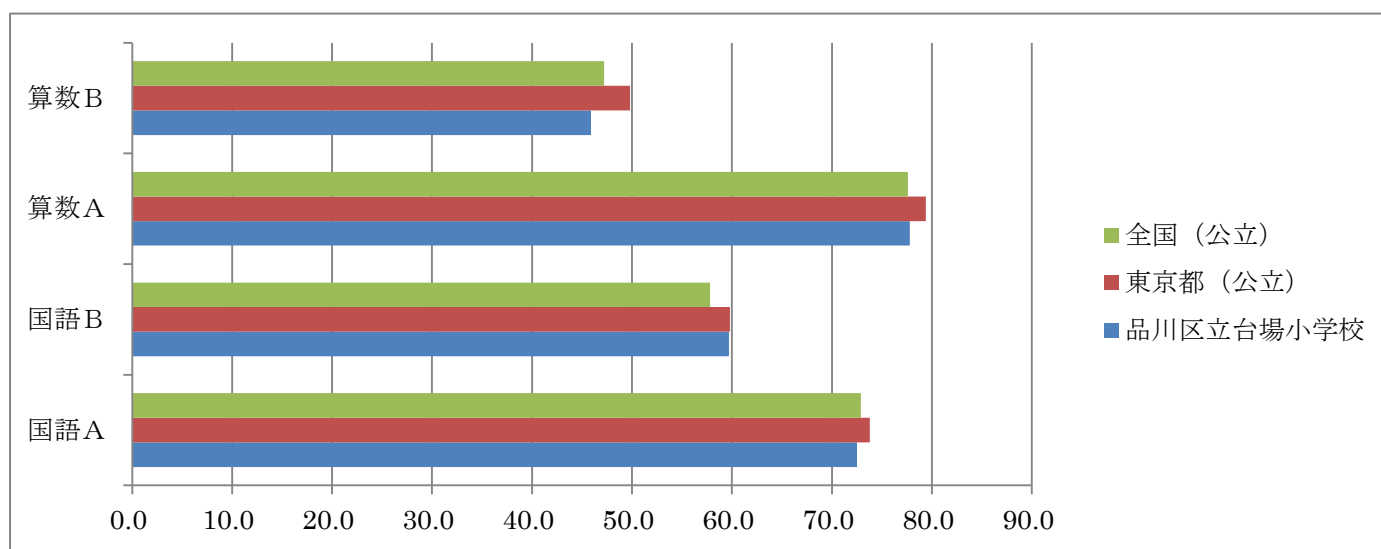


平均正答率（％）

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
品川区立台場小学校	72.5	59.7	77.8	45.9
東京都平均（公立）	73.8	59.8	79.4	49.8
全国平均（公立）	72.9	57.8	77.6	47.2



【結果の分析】

■国語

国語 A（主として知識）では、全国平均・東京都平均を下回っている。国語 B（主として活用）では、全国平均を上回り、東京都平均とほぼ同じ数値であった。国語 B に関して言えば、授業の中で自分の考えを書いたり話したりする言語活動を繰り返し設定してきた成果であると考えられる。国語 A の結果を加味すれば、基礎基本となる知識の定着に課題があると考えられる。特に漢字の読み書きに課題がみられる。

■算数

算数 A（主として知識）では、全国平均を上回ったものの都平均を下回っている。算数 B（主として活用）では、全国・都平均を下回る結果でした。「数と計算」の繰り下がりのある減法の計算、除数が 1 より小さい時の商との関係、不等号、「図形」の図形の構成要素、直方体における面と面との位置関係についての設問は良好であった。しかし、特に、算数 B において、長文の文章問題、資料を基にした問題、式の意味付けを説明する問題について課題が残ることが明らかになりました。

【2 学期以降の授業改善のポイント】

■国語

国語の授業では、言語に関する知識を重点的に指導していく。漢字ステージの活用方法を工夫し、国語辞典なども活用しながら、語句の知識や意味を理解する力を身に付けさせる。そのために、帯学習の時間を活用することが考えられる。

■算数

帯学習、ステップ学習、補習学習、個別学習、長期休業の補習等では、東京ベーシックドリルを個々に合わせて行い、基礎的・基本的な内容を身に付けさせます。

授業では、問題を解決する授業展開（台場授業メソッド）において、「示された図やグラフ、文章題の場面状況を読み取り、問題解決に活用し説明する活動」「友だちの考えをよく聞き、それを理解し話したり書いたりする活動」を繰り返し行い、基礎基本の知識や理解力を思考・判断・表現力に生かすことができるように育成します。

【ご家庭では】

児童アンケートでは、「月～金に1日当たり家庭学習（塾などを含）を1時間以上している。」と回答した児童は60%以上で、全国・都平均とほぼ同じです。反面、「月～金に、1日当たりテレビやDVDを見る時間が3時間以上と回答した児童が18%以上で全国・都の平均を上回っています。さらに、「月～金に、1日当たりTVゲーム（PC、スマホ、携帯式のゲーム含）を3時間以上している。」と回答した児童は18%以上、「2時間以上」と回答している児童を合わせると36%以上となり、全国・都の平均を大きく上回っています。これらの結果から、学校や家庭が一体となり、児童の学習習慣だけでなく生活習慣も見直すことが求められます。生活のリズムを整え、学校で学んだことはその日のうちに家庭で学習し、自ら学び自ら知を求める力をはぐくみ、学ぶ楽しみ、できる楽しみを身に付けさせることができるよう、児童の日々の学習の歩みを褒めたり、助言したりしながら取り組んでいきます。ご家庭でのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。